

よみきかせボランティアのための

おすすめえほん

2018
秋号

小学1・2年に
おすすめ

『おなかのかわ』

瀬田貞二/再話 村山知義/絵 福音館書店(約9分)



オウムアムの家に招待されたネコは、ごちそうを食べ尽くし、オウムまで丸飲みにする。外にでると、道で会ったおばあさん、馬方とロバ、王さまも兵隊も次々に飲み込んでしまう。最後に飲まれたカニが、はさみでネコのおなかに穴をあけると、丸飲みにしたものが次々とでてくる。ペロりごとくと飲み込む繰り返しがおもしろい。絵は強い輪郭ではっきりしており遠くからもよく見える。



プログラムに取り入れたい 手あそび・わらべうた
『もどろもどろ』



もどろ もどろ もものは もどろ



かえろ かえろ かきのは かえろ



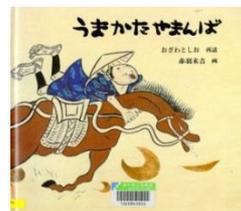
手のこうを上にして揺らしながら「もどろ…」と歌う。手のひらをくるっと返して、手のひらを上にして揺らしながら「かえろ…」と歌う。

『うまかたやまんば』

おざわとしお/再話 赤羽末吉/画 福音館書店(約7分)

小学3・4年に
おすすめ

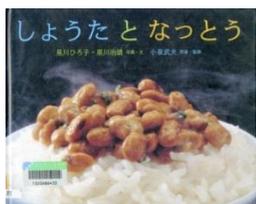
馬方が峠にさしかかると、山姥に追いかけられ、荷物の魚から馬まですっかり食べられてしまう。馬方が逃げて、一軒家の梁はりに隠れると、そこへ山姥が帰ってくる。山姥は甘酒を温めうとうとし始めたので、馬方は梁の上から萱かやで吸いあげて飲んでしまい……。馬方と山姥の追いつ追われつの展開に子どもはドキドキしながら聞く。



小学5・6年に
おすすめ

『しょうたとなっとう』

星川ひろ子、星川治雄/写真・文 小泉武夫/原案・監修 ポプラ社(約8分)



しょうたとおじいちゃんが、大豆をまいてから、納豆ができるまでを追った写真絵本。納豆嫌いのしょうたは夏の初めにおじいちゃんと畑に青大豆をまく。花が咲き、さやができると、ゆでて枝豆を食べる。秋になると、茶色くなった大豆を収穫。冬の朝、大豆をゆでてわらづとにいれると、2日後、大豆はとっておきの変身をして、納豆になる。しょうたは納豆をおいしく食べる。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
(2018.9発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県立図書館

検索